

書籍企画書

タイトル

金持ちの心理（仮）

体裁：

四六版／ソフトカバー／208～240 頁／表紙カバー4C・口絵 1C

<ターゲット>

人生の節目を迎えお金に対する意識が高まっている世代

生まれたからにはひと旗揚げたいと夢見る 30 代を中心とするサラリーマン

先行き不透明な将来に怯える 40 代

企画・制作

有限会社ラップ 土屋幸仁

東京都新宿区新宿 1-12-15

サンサーラ第四御苑 901

電話：03-5360-7472

<企画意図>

貧困率 15.7%、OECD 加盟 30 カ国でワースト 4 位。経済大国日本のこれが実情である。格差社会の是正は一向に進まない。景気回復・雇用の安定はいつのことになるのやら。「一億総中流」と言われた 30 年前が懐かしい。

日銭暮らしの貧乏人や、肩たたきの恐怖と闘うサラリーマンにとって、金の心配をしなくて済む金持ちは羨ましい存在。だが、当の金持ちは金持ちなりの悩みがある。それは一度金を持ってしまった者ゆえの悲しい性で、手にしたものを失いたくない、あるいはもっともっと金が欲しい、という無間地獄に陥るのだ。

持たざる者から見れば持てる者が恨めしく、持てる者から見れば持たざる者のほうが余程も暢気でいられる。そんなこと、頭の中ではわかっているつもりだけれど、それでもやっぱり金が欲しいのが人情。そこで、国民の 9 割以上を占める金持ち未満の我々は知り得ない、欲に駆られた金持ちの実像と心理、さらには一度は立身出世を夢見る庶民に参考となる金持ちゆえのお金を稼ぐ力について洞察を加える本を企画する。

<執筆者候補>

星田昌紀

慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了後、松下電器産業、(財)新世代コンピュータ技術開発機構、松下電器産業マルチメディアシステム研究所を経て、千葉商科大学政策情報学部専任講師、准教授。専攻はメディア、心理学、映像企画制作。「対人コミュニケーション」の講義では、月収 5 万円の妻子あるフリーターが、インターネットを使った起業で月収 2000 万円になるまでの事実を追って自ら企画制作した映像ドキュメンタリー「MONEY」を題材に、お金をどうして儲けるかではなく、人がお金に対して持つ心理を考察する「お金の心理学」という新しい授業を实践中。「お金に対する人間心理」は何故これほど欲や恐怖に支配されるのかを考察する、という内容。また、心理学を「経営」や「お金を稼ぐ力」に応用する方法についても深く突っ込んだ講義を行う。さらに、「カウンセリング」や「コーチング」の技法を通じた、コミュニケーション法も講義する。

<企画内容>

執筆者は、社会人時代は人工知能・並列処理といったコンピュータ関連を主な研究対象としながら、大学講師就任後は一変して心理学や映像制作を通じた企画力・表現力の養成、コミュニケーションを専攻する異色の経歴を持つ。また「経済」や「経営」に比べて、より生々しく学生の興味をひく「お金」と「人」との関係性を講義に持ち込む、独自の感性の主でもある。

本書は、執筆者が受け持つ「対人コミュニケーション論」の講義内容の一部「お金の心理学」をベースにしつつ、人はどの程度の金を手にした時から心理的にお金に縛られ強迫観念を抱くようになり、そのキャパシティは成り金と生まれつきの億万長者ではどの程度違うのか？ 恒常的にまとまった金銭を得ることで、どのような意識の変化が生まれ、それをいかに「稼ぐ力」へと転化していくか？ さらに、本当の億万長者のお金に対する考え

方、これまで見てきた金持ちの生活ぶりと、「金が金を呼ぶ」は真実か？ はたまた金持ちと一般人の金の使い方や発想の違いなど、具体例を挙げながら検証し、「金持ちになるためのヒント」が散りばめられた一冊としたい。

<構成案>

「成り上がりの果てに」

執筆者が成り上がりの過程とその後の苦悩を追った「MONEY」の一家の話。月収が 400 倍にまで膨れ上がるプロセスと、その間の主人公の心理的变化から、お金がもたらす幸福とお金にむしばまれる精神を描く。成り上がり者の悲哀がそこにはある。

「お金コミュニケーション論」

成り金、あるいは本物の億万長者の生活ぶりと、お金に対する考え方、使い方、意外な節約法などに見る、金持ちに共通したお金との付き合い方について。また、金持ちならではの人の付き合い方など、「金持ちのコミュニケーション論」にも一考察を加える。

「金は本当に金を呼ぶのか？」

ひとたび事業が軌道に乗るとトントン拍子にうまくいく——サクセスストーリーには欠かせないこの事象について、執筆者の知る限りにおいての具体的な事例を引きながら、すべてをプラスの方向に転がす成功者ゆえの心理や発想、経営術や人材活用術、交際術などを解説。

「金を稼ぐための●箇条」

金銭は労働に対する対価であり、その人の価値でもある。稼ぐ金額がその人の評価や市場価値、といっても過言ではない。きちんと稼げる人間になるために、金持ちが払っている努力や注意とは？そこから一般人にもフィードバック可能な「稼ぐための法則」が見えてくる。

「金持ちの心理学」

人間はお金に対しどんな心理を抱くのか？金持ちの心理は我々とは違うのか？そもそも成り金と本物の億万長者では、心理的に何が違うのだろうか？

「金持ちの発想」

金持ちが考える次の金を産むための発想法とは？金持ちならではの心理的錬金術について。

「金持ちと貧乏人、経営者に向くのは？」

文具を使い切るまで新品を買い与えず、企画書は A4 用紙 1 枚以内にまとめさせる、徹底的に無駄を省くケチな大企業もあれば、社長の私用車を会社の経費で買い漁る放漫経営者もいる。金持ちが金を稼ぐ力に長けているなら、金持ち体質の経営者のほうが社長に向くように思われるが・・・？